

授業科目	看護学				単位	2		
履修	選択	関連資格			ナンバリング	NT11107J		
開講年次	3年	開講時期	後期	該当DP	DP1-2 DP2-1 DP3-1 DP5-1			
担当教員	小野 正子							
授業概要	<p>本講義では、看護の歴史と代表的な看護理論、看護のとらえ方や看護の定義について解説する。さらに生活者としての人間の捉え方や看護援助の目的等について解説し、看護とは何かを具体的にイメージできるようにする。看護の機能として、健康障害の予防や健康の保持増進の意義と方法、健康レベルに応じた保健活動や疾病・症状別の看護を解説する。</p> <p>講義全体を通して、対象に応じた具体的な看護の方法論を提示し、保健医療チームにおける専門職種間の連携のあり方や情報共有と継続的関わりについて考える一助とする。授業はオムニバス形式とし、長年の臨床現場での経験をもつ実務家教員5名で担当する。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護の概念について説明できる。(DP1-2)(DP2-1) 2. 生活者としての人間の「生活」の4つの側面について説明できる。(DP1-2)(DP2-1) 3. 健康障害の予防や健康の維持増進に向けた看護の要点について説明できる。(DP1-2)(DP2-1)(DP3-1) 4. 多職種チームとしての継続的関わりについて説明できる。(DP2-1)(DP3-1)(DP5-1) 5. 事例を読み、看護職と栄養士の関わりについて発表することができる。(DP1-2)(DP2-1)(DP3-1)(DP5-1) 							
達成度評価								
評価と評価割合／評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	40	55	5	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)			20		5	0	25	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)			20	20			40	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)			0	20		0	20	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)				15			15	
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
専門職である看護師の専門職種間における役割について述べる ことができる。 継続した看護の必要性について述べる ことができる。				行動目標1～4について理解し、 看護師の役割について述べる ことができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	

1	テーマ:オリエンテーション、看護学の概論(小野正子) 看護の歴史、看護理論、看護の定義について解説する。また生活者としての人間について「4つの側面」から解説し、多職種チームとしての情報共有や継続的関わりについて解説する。	・シラバス、 資料を用いてオリエンテーション、講義を行う	講義内容の復習を行う。	60
2	テーマ:乳幼児期の子どもの健康と栄養(樋口由貴子) 離乳食や食習慣の確立について解説し、支援のあり方を考える。	スライドによる説明	講義内容の復習を行う。	60
3	テーマ:学童期の子どもの健康と栄養(樋口由貴子) 学童期の子どもの食物アレルギーについて解説し、対応の仕方を学ぶ。	スライドによる説明、 グループワーク	講義内容の復習を行う。	60
4	テーマ:胃がんの手術を受ける患者の看護(財津倫子) 胃がんの手術を受ける患者の看護を解説する。栄養的な側面を含め、入院から退院指導まで	スライドによる説明	講義内容の復習を行う。	60
5	テーマ:栄養教育を考える(財津倫子) 事例(胃癌で手術を受ける患者の看護)を読み、調べ学習をし、グループで話し合い栄養教育の計画書を作成する。	調べ学習、ディスカッション、グループワーク	講義内容の復習を行う。	60
6	テーマ:栄養教育の共有(財津倫子) 胃癌で手術を受ける患者の看護と栄養教育の計画を発表	グループワークおよびプレゼンテーション	講義内容の復習を行う。	60
7	テーマ:疾病を持つ高齢者における看護(吉原悦子) 認知症について解説する。	講義	講義内容の復習を行う。	60
8	テーマ:認知症を持つ高齢者における看護(吉原悦子) 事例を読み、看護師と栄養士を含めた多職種で支援するために必要な要素と技術を話し合う。	ディスカッション	講義内容の復習を行う。	60
9	テーマ: .疾病を持つ高齢者における看護(吉原悦子) 脳血管疾患について解説する。	講義	講義内容の復習を行う。	60
10	テーマ:脳血管疾患を持つ高齢者における看護(吉原悦子) 事例を読み、看護師と栄養士を含めた多職種で支援するために必要な要素と技術を話し合う。	ディスカッション	講義内容の復習を行う。	60
11	テーマ:高齢者世帯の在宅看護1(石井美紀代) 在宅療養が必要な高齢者の介護問題について、介護の社会化の視点から解説する。	講義	講義内容の復習を行う。	60
12	テーマ:高齢者世帯の在宅看護2(石井美紀代)高齢者の在宅療養を、看護師と栄養士を含めた多職種で支援するために必要な要素と技術を話し合う。	ディスカッション	予習:高齢者介護の問題について、資料収集	60
13	テーマ:成人期の公衆衛生看護活動1(石井美紀代) 生活習慣病予防について、個別、集団、地域を対象とした看護活動を解説する。	講義	講義内容の復習を行う。	60
14	テーマ:成人期の公衆衛生看護活動2(石井美紀代) 生活習慣病予防について、個別、集団を支援するために必要な要素と技術を話し合う。	ディスカッション	予習:生活習慣病予防の食生活について、資料収集	60
15	テーマ:全体の講義のまとめ(小野正子) 全体の講義を通して、多職種チームとしての継続的関わり(特に看護職・栄養士を中心とした)について考察する。	講義、ディスカッション	講義内容の復習を行う。	30

16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	既習の解剖生理学、病理学、臨床生理学などで学んだことを振り返っておくこと。 提示された課題を行って講義に臨むこと。			
テキスト	特に定めない。必要時、資料等を配布する。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	適宜紹介する			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	本講義はオムニバス形式にて各看護学領域の教員で担当します。初回講義時に講義内容の説明を行います。各自学習して講義に臨みましょう。 将来、栄養の専門職として、看護師と協働することを考えながら学習を進めましょう。 講義順序を変更する可能性があります。変更については初回講義時にお伝えします。			
達成度評価に関するコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・レポートの提出が必要な講義においては、講義中にまとめ方について提示する。 ・課題を提出する際は、引用文献も記載すること。 			